

岩手労働福祉協

発 行
(社)岩手県労働者福祉協議会
盛岡市大沢川原2丁目2番32号
TEL (019) 654-3082
発行責任者 砂金 文昭
編集責任者 佐々木誠志

No.142 2009年1月10日発行



年頭にあたって

社団法人岩手県労働者福祉協議会

会 長 砂 金 文 昭

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはご健勝で新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は福祉が政治から見放され、冷酷・非情な実態が全国至る所で起きた一年でした。後期高齢者医療制度や年金の改ざん問題そして労働者の雇用問題と、山積する課題に政治は機敏に対応しないばかりか、政策が後手に回り、くらしの行く末に光明をなかなか見い出せません。

2009年がよい年であるためには、「労働者福祉」がめざす理想に向かって皆がしっかり手を組み足並みをそろえて歩みだすことです。ひとりがみんなのためであり、みんながひとりのためである。この思想をあらゆる行動の出発点としなければなりません。

政治が人々の幸せに役立たなかったなら、政治を変えるしかないのです。民主主義はそれを保障しています。憲法は「主権は国民」にありと断じています。ならば自ずからやることは決まっています。それぞれの役割において最善を尽くしましょう。歩み出すのは一緒。さあ、そろそろ支度に取りかかりませんか。準備だけは怠らずに。

銀嶺に そそぐ光や 初日の出 砂 ふみあき

今年一年、皆様方の一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

会 長	砂 金 文 昭
副 会 長	小野寺 正 志
〃	来 内 広 幸
〃	軽 石 義 則
専務理事	佐々木 誠 志
常務理事	小 野 務 孝
理 事	下斗米 義 孝
〃	佐々木 敏 男
〃	浦 山 正 年
〃	昆 義 夫
〃	菅 原 誠 公
〃	高 橋 克 進
〃	千 葉 博 文
〃	八 幡 明 彦
監 事	藤 井 恵 一
〃	吉 田 正 孝
〃	柴 谷

2009 謹賀新年



「希望の国へ舵を切る ～歴史的な転換点」

連合岩手
事務局長 小野 務

新年明けましておめでとうございます。

日頃は、連合運動に対しご理解とご支援を賜りまして深く感謝申し上げます。

さて、米国に端を発した世界同時金融危機は、日本の実体経済にまで大きな影響を与えて、雇用への影響も甚大です。とりわけ非正規雇用の雇い止め、失業問題が顕在化しています。

岩手においても、10月の有効求人倍率が0.49と6ヵ月連続し低下するなかで、非正規雇用の雇い止め・失業問題等が発生し、12月10日岩手県発表によると「非正規労働者1,728人の削減・新卒者求人取りやめが51人」にのぼり、県内の経済、雇用情勢にも大きな影響をおよぼし、非常に深刻な状況にあります。

この間、連合岩手は「緊急雇用対策本部」を設置し、このような緊急事態の改善に向け、労働局、岩手県、経営諸団体等への要請行動を行ったほか、現在緊急雇用相談などの諸行動を展開しています。

連合岩手は「すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう」をスローガンに掲げ、21世紀にふさわしい労働運動の構築をめざし運動を進め、今年10月で20年となります。

今、労働運動は逆風の中にありますが、20年目を迎える2009年「希望の国へ舵を切る～歴史的な転換点」になるよう前進する一年にして行きたいと思います。

今年も一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



国民主権を 自らの手で

平和環境岩手県労働組合センター
議長 来内 広 幸

新年明けましておめでとうございます。

いよいよ政治の潮流が大きく変わる年の幕開けとなり、1955年から政権政党であった自民党政治の終焉と

与野党逆転での政権交代が可能な年を迎えました。その可能性はこれまで以上に高まり、国民一人一人の手で政権を交代する機会が遠くない時期にやってきます。

その歴史を変える力は決して大きな人間ではなく、小さな人間である国民一人一人の一票で変えることができます。政権を交代し憲法の理念に基づく政策を実現するために、未組織労働者はもとより地域住民との連帯を強め政治変革を確実にしていくことが大事だろうと思います。

今年は丑年、牛の歩みは遅くとも確実に目的に向かって大地を踏みしめ歩き続けます。私たちも惰眠をむさぼることなく国民主権を自らの力で実現するために、一步前に踏み出していきたいと思います。

皆様のご支援をお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。



千変万化

岩手友愛会
会長 軽石 義則

新年あけましておめでとうございます。みなさまにおかれましてはすこやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、年末年始にあたり業務に就かれた仲間のみなさまに対しまして敬意を表します。

さて、昨年は岩手・宮城内陸地震や岩手県沿岸北部地震により、岩手県においても度重なる被害が発生しております。被災により不幸にしてお亡くなりになったみなさまに哀悼の誠を捧げるとともに、いまだに避難生活を余儀なくされている皆様の早期の復興を御祈念いたします。

また、昨年末は世界的な経済危機から始まりました不況により、輸出産業を中心とした周辺産業において、比較的雇用が安定していた内陸部に大きな雇用情勢の変化が進んでおります。不安の中で新年を迎えられた皆様もかなりの数であったものと思われます。

しかし、このような状況に対する政府・与党の対応は、スピードが実感できない後追いにしか見えません。居住スペースさえ失っている現実を改善できない政治であれば、将来に期待や希望は持てません。

労使による努力も限界があります。このような末期

症状にある政権と君子豹変する日本のリーダーは、早期に解散・総選挙を実施し、交替させなければなりません。まずは政治を『千変万化』することにより、安心して暮らせる社会にする年にしなければなりません。

岩手友愛会としても、連合岩手とともに、先達から受け継いだ自由にして民主的な労働運動を確実に前進させなければなりません。そして、いまだにすべての運動が継承されない現実を踏まえ、関係する各組織・団体と連携し、県内における労働者の結束をはかり、健全な労使関係の維持・向上はもとより政治による政策制度の実現に向けた取り組みを推進することであり

ます。

昨年を表す漢字は『変』であります。100年に一度といわれている困難のとき、これまでの労働組合としての意識を「変えて」いくことが、価値と存在感を高めることだと考えております。

2009年を迎え、みなさまと力を合わせ、明るく元気にわかりやすい運動を着実に推進していく所存でありますので、変わらぬご指導とご支援をお願いし、年頭にあたっての挨拶とさせていただきます。



ゆとり豊かさが実感できる 公正・公平な社会へ

東北労働金庫岩手県本部

本部長 小野寺 正 志

岩手県労働者福祉協議会に集う構成組織の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、健やかな新年をお迎えのことと存じます。また、日頃より東北労働金庫をご愛顧賜り、勤労者のメインバンクとしてお引き立て頂いておりますことに、心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年は政治も経済も混乱をきたし、社会全体の動向がめまぐるしく展開されるなど、まれに見る激動の一年であったと考えます。

グルジア紛争、ムンバイの同時多発テロが続き、世界では未だ戦争やテロの恐怖に怯える避難民や戦争孤児が数千万人もいと言われています。日本国内においても、私たちには到底考えの及ばない残虐な事件が多発している現実と直面した時、憤りと強い怒りが込み上げてきます。

100年に一度とも言われる、未曾有の世界金融危機が勃発したのは9月でありました。アメリカ発のサブプライムローン問題に端を発した、リーマン・ブラザーズの企業破綻を契機に世界の金融システムが崩壊し、日本経済の成長にも大きな陰りをもたらし、未だ予想

を遥かに超える厳しい金融・経済環境にさらされています。

この様に、混迷する世界経済情勢下の中で、昨年秋のアメリカ大統領選挙で初の黒人大統領、オバマ次期大統領が誕生する歴史的瞬間に遭遇することができました。一方で日本の政治情勢は、一向に回復のシナリオが見出せない政治空白が続くなど混迷を呈する状況にあります。

こうした時代だからこそ、勤労者の声と力を集めてお互いを支え合う、労働者福祉機関としての運動が益々重要になってきているものと考えます。「ろうきん」は、勤労者全ての方々に対し、ゆとり豊かさが実感できる公正・公平な生活環境を整えていくための手助けとしての役割と責任が求められているものと考えます。今後もその期待と使命を自覚し、お客様の目線、お客様の立場に立ったサービスの創造に努め、信頼と希望が託せる「ろうきん」づくりに責任と役割を果たしていきたいと考えます。

今年の干支は「丑」です。歩くスピードは遅いかもしれませんが、一步一步着実に前進する気概をもって運動を進めていきたいものです。

2009年が皆様にとりまして良き年でありますよう心からご祈念申し上げますとともに、東北労働金庫に対する、なお一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



「牛に引かれて 善光寺参り」

全労済岩手県本部

理事長 佐々木 敏 男

新年明けましておめでとうございます。

昨年一年間の全労済事業推進にあたり労福協加盟団体・組合員の皆様から多大なるご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

今年も「組合員の全労済・正直な全労済・努力の全労済」の信条のもとに役職員一丸となって事業推進を展開していきますので引き続きのご支援をお願い申し上げます。

さて、アメリカの金融危機に端を発し、世界同時株安から不況へと突き進んでいる経済・金融環境の激変により、私たち全労済を取り巻く環境もめまぐるしく変化をしています。

組合員の信頼と付託に応え、保障と安心を将来にわたり確実に提供しつづけるためにも、経営の健全性向上を含めた事業運営を目指していきたいと思ひます。

そのためにもコンプライアンスの推進を重視した事業体風上の醸成と、その徹底を図った組織運営を構築していきたいと思います。

今年の干支である丑にちなんだ諺に、「牛に引かれて善光寺まいり」というのがあります。

全労済の役職員全員がこの善光寺の牛の如く、組合員一人ひとりに役立つ生活保障設計運動を強化しながら、組合員のライフプランを積極的にサポートしていきたいと思います。

そして「生活保障プランナー」の皆様と連携しながら進めていきたいと思います。

さらに、全労済は「助け合いの輪を広げる事業」として環境活動に対する助成などの社会貢献活動も展開しながら、「人間らしい豊かな暮らしの創造」に向けて積極的に取り組んでいきたいと思います。

また、全労済の保養施設として組合員の皆様にご愛顧いただいております「南部富士見ハイツ」も、地元の食材を生かした会席料理をはじめ利用しやすいコースをご提供しております。

今年も多く企画商品を用意し、皆様のご利用を心よりお待ち申し上げております。

最後に、大きな時代の転換期の中で人と人との繋がりを大事にし、お互いを尊重し助け合う新しい社会、より良い「共生の社会」を作るためにも、今年一年「全労済」に対しまして一層のお力添えをお願い申し上げます。

2009年が労福協加盟団体・組合員の皆様にとって大きく飛躍する一年となりますよう心からご祈念申し上げます。



新たな年に向けて

ハピネス共済会
財団法人岩手県民共済会

理事長 菅 生 哲 修

新年あけましておめでとうございます。

また、昨年中はハピネス共済会の様々な取り組みに対し、御支援と御協力を頂き心から感謝申し上げます。

昨年7月25日に開催いたしました、第38回評議員会におきましては、厳しい環境下ではありましたが、健全な決算状況(08年5月31日決算)を報告することができ、これもひとえに皆様様の御支援・御協力の賜物と役職員一同肝に銘じ、御礼を申し上げます。

しかしながら、一昨年に成立いたしました「公益法人改革3法」による新法人移行が昨年(平成20年)12月1日から平成25年11月30日までの間に、新法人に移行しなければならない、新法人移行時から、改正「保険業法」が全面適用となり、弊会のように岩手県民の皆様のみ提供している小規模共済事業者に取りましては、大変厳しい改正内容となっております。この間、保険業法の監督機関である「東北財務局」に4回ほど

足を運び指導を仰ぎましたが、いまだ不透明な状況であり早期の指導を要請しているところであります。

また、施設事業におきましては、自治労岩手県本部様に入居して頂いているサンハピネス(旧称、岩手県民共済会館)の事務所そして住居部分と満室の状況となっております。

さらに、弊会事務所のある山王ハイツにおいては、1階部分テナントにはいわて生協をはじめ、ラーメンを営む店舗、そして理容店、コインランドリー、時流のIT産業と位置づけられる銀河通信・環境化学、2階にはホテルサンノウ、盛岡市内の勤労者への福利厚生事業を主とする財団法人盛岡市勤労者福祉サービスセンター、施設の保守・メンテナンスが主たる業務の(株)協同、保険代理店・ビル・マンション経営・不動産の賃貸斡旋・仲介と事業の幅を広げている有限会社きょうさいライフ、共済・施設事業の弊会事務所、そして昨年暮れも押し詰まった12月22日には、新たに「スープ&カフェ『ルシッカ』」がテナントとして入居頂き、日常生活には欠かせない多彩な業種に入居して頂いております。

最後に厳しい環境下ではありますが、役職員一丸となり奮闘する決意を申し述べ新年の御挨拶とさせていただきます。



労働者福祉運動の拠点として

財団法人 岩手労働福祉会館

理事長 来 内 広 幸

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は労働福祉会館のご利用を賜り心から感謝を申し上げます。

また、厳しい経済環境下での会館運営においても、労福協構成団体の皆様からの特段のご理解とご協力を頂いたことに対しまして厚く御礼を申し上げます。

さて、世界同時不況の中で、日本経済も厳しい状況の中で新年を迎えています。とりわけ雇用の悪化はこれまでに例を見ない勢いで進み、早期の雇用対策が叫ばれています。そのために同じ働くものの連帯が問われ、労働組合の存在も問われ始めていると思います。その労働運動の砦が労働福祉会館であり、集まり行動する労働運動の活動の拠点としての位置づけもあることは言うまでもないと思います。

その会館の持つ機能と役割を肝に銘じ、併せて労働団体の組合員の皆さんが気軽に利用できる施設であり、ご満足いただける宴会等の企画商品をご提供できる会館運営を目指していきたいと思います。

さらには、公益法人改革に伴う移行準備や市道拡幅工事による会館への影響調査など、法人運営にとって大事な年の幕開けとなります。

労働福祉会館が建設された歴史を踏まえ、利用者で

ある組合員の皆様の声を大事に受け止めながら、将来のあるべき労働福祉会館について検討を進めていきたいと思います。

最後に、丑年であり事業運営は着実に堅実にまいりながらも、利用者へのサービスは的確に迅速に行うよう役職員一同さらに努力をする所でございます。

皆様のご多幸とご繁栄を心より御祈念申し上げますとともに、変わらぬご支援をお願い申し上げます。



安心できる くらしの支援に向けて

岩手県消費者信用生活協同組合
理事長 矢神章男

謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日頃から当生協に対し格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は急激な経済環境の変化に見舞われ、私たちのくらしも多大な影響を受け今後も予断を許さない状況に置かれております。特に雇用の悪化は想像をはるかに超える勢いで広がり、まさに安心できるくらしの実現が切望される状況になっています。

当組合では、これまで多重債務や金融トラブルからの脱却と生活の再建を支援するため、具体的な解決方法として県内全市町村及び弁護士会との連携と金融機関の協力による「消費者救済資金貸付制度（スイッチローン）」を一方法として活用し、丁寧な相談と生活再建のアドバイスを実施してまいりました。この取り組みにより、借金問題は解決方法が必ず見つかることが理解され、多くの方が将来を破綻させることなく、くらしの再建を実現しています。一方、多重債務解決策が国の施策として実施されるなかで、債務整理などにより金融機関等から借入ができない方が、ヤミ金などの被害に遭わないようにするためのセーフティネット貸付の拡充が喫緊の課題とされております。

当組合でも「生活再生資金貸付制度（サポートローン）」を実施し取り組みを進めてまいりましたが、資金を必要とする方の個々の状況に応じたきめ細やかな相談と具体的な制度が必要であり、当組合の貸付制度だけではすべての需要者に応えることが困難な状況にあります。債務整理方法と同様に、多様な解決方法（セーフティネット貸付）の中からその方に最適な方法を選択できるような相談、貸付制度の充実及び周知を急ぐ必要があります。

昨年、県立県民生活センター、県児童家庭課、東北労働金庫岩手県本部、県社会福祉協議会の各機関とともにセーフティネット貸付機関連絡会議が設けられ、セーフティネット貸付の拡充を図り、金融機関等から借入ができない方が何らかの解決が図られるよう取り組みが進められております。

いずれ多重債務に陥る原因の多くは、厳しい家計のなかでお金が必要な時に高利の資金を借りざるを得ないことに端を発していることを考慮すると、昨今の経済環境や雇用情勢の悪化が、借金問題を抱える方やヤミ金などの被害に陥る方の増加に繋がるという可能性が懸念されます。

当組合では、各機関との連携を強めセーフティネットとしての役割を拡充することで、安心できる暮らしの実現を支援してまいりたいと考えております。同時に、組合員の相互扶助という生協の特徴や事業内容を理解いただき、より多くの方の組合員加入や事業の活用を高める取り組みを進めてまいります。

今年もこれまでと同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



年頭挨拶

岩手県学校生活協同組合
専務理事 高橋克公

新年、明けましておめでとうございます。

岩手県学校生活協同組合は小中高校の教職員や退職教職員を中心にしながら、他に様々な一般職場の方々にも加入していただいている職域生協です。安全安心な食品を中心とした共同購入や、ガソリン・灯油事業、組合員証によるカード事業、各種共済・保険など多くの事業に取り組んでおります。

さて、昨年の中国製冷凍餃子事件は未だに解決を見ずにおり、中国製食品への不信任感を増大させ、生協の共同購入事業においても中国製食品の除外によって安価な魚や肉加工冷凍商品の利用が大幅に減少し、計画を割り込む事態となっています。また、前半の原油高騰や後半のサブプライムローンなどの信用収縮による雇用悪化と景気後退の影響から、全般的に厳しい経営状況です。このような中、職員一人一人が共同購入や商品のおすすめ活動を着実にすすめ、組合員の安全安心への期待に応える取り組みをすすめております。

学校生協では、食の安全のためにも農林水産業を支えることが重要と考え、地産地消を大切にする取り組みや、安心して暮らせるための年金、介護、医療や消費者問題などの運動についても他団体とともにすすめてまいります。

ぜひ多くの皆さんにご加入いただき、ご利用いただくとともに、平和とくらしを守る運動をともに進めて参りましょう。